

福島イノベーション・コースト構想推進企業協議会がお世話になっている皆様へ

平素、大変、お世話になっております。福島イノベーション・コースト構想推進企業協議会においては、昨年度まで精力的に活動をして参りました「防災部会」を継承し、あらたに「廃炉・レジリエンス部会」が活動を開始しました。このたび、当部会は、福島イノベーション・コースト構想の今後の展開と福島の復興を、「レジリエンス」をキーワードに皆様とともに考えるフォーラムを開催致します。

ご講演者としてお迎えするのは、本年11月に仙台市で開催される「世界防災フォーラム」を企画する中心人物である、東北大学の小野裕一教授、また福島県富岡町で建設コンサルタント業を中心に幅広い取り組みをされている(株)ふたばの遠藤秀文社長です。

小野先生は、海外でのご経歴が長く、国際的な視点に立脚した防災に関わる教育・研究活動を行っておられます。東日本大震災と原子力事故の複合災害を経験した「ふくしま」であるからこそ、世界から期待される取り組みについてのヒント、ご示唆を頂けるものと思います。遠藤様は、東京の大手コンサル企業での海外赴任経験を得て、故郷である富岡町に戻り事業に取り組んだ矢先に震災にあわれましたが、故郷への強い思いから、早期に事業再開を行い、防災・空間情報・環境保全の分野においても先進的な事業活動を国内外で展開されています。ふくしまの復興に求められることを一人称で考え、行動をされてきており、国際的な視野もお持ちの地元経営者として、福島の復興に向けたお考えをお話いただけます。

後半のパネルディスカッションにおいては、福島イノベーション・コースト構想に関して当初から検討に参加され貢献されている、福島大学の小沢喜仁教授にご参加いただき、講演者のお二人とともに、人材育成等のご見識をもとにお話をいただき、会場の皆様とともに2020年以降の福島イノベーション・コースト構想の可能性を議論いたします。

皆様、お忙しいことと存じますが、ぜひ、会場にお出でいただきたく、ご案内させていただきます。

福島イノベーション・コースト構想推進企業協議会
廃炉・レジリエンス部会長 北村秀哉